

THE WEEKLY NEWS OF FUTTSU-CHUO

こころの中を見つめよう
博愛を広げるために



奉仕と親睦
夢と希望を持って活動しよう

国際ロータリー会長 カルヤン・パネルジー 2011～2012 富津中央RC会長 小野 恒靖
国際ロータリー 第 2790 地区 富津中央ロータリークラブ 創立:1966/10/13 加盟承認:1966/12/12
RI D2790 FUTTSU-CHUO ROTARY CLUB Organized : Oct./13/1966 Chartered : Dec./12/1966

No.2239 第31回例会 2012. 3. 8 曇

点 鐘：小野恒靖 会長
進 行：佐藤信泰 副 SAA
ソング：我等の生業

会長挨拶

小野恒靖 会長



榎本さん、ようこそいらっしゃいました。盛大な拍手でお出迎えです。

君津ロータリークラブの40周年に須藤幹事さんで行って来ました。君津市長、山田ガバナー、秋元パストガバナーの挨拶のあとに、姉妹クラブ、甲府東クラブの志村敬会長の挨拶がありました。25日の塩山ロータリーの40周年にお会いしましょうと挨拶してきました。

市制40周年を迎えた富津市では同事業の一環として、「2011富津市勢要覧—いきいき富津—」を発行しました。

松本ピアノ・オルガン保存会はこのほど、「松本ピアノの歴史～三代続いたスウィート・トーン」を刊行

しました。さざ波館に「松本ピアノ」があります。

渡辺務会員が市議会で質問しています。

次女(可苗)が結婚します。祝金有難うございます。皆さんを招待出来なくて残念です。

教養講座として「ぼけない、ぼける」のお話です。参考にしてください。

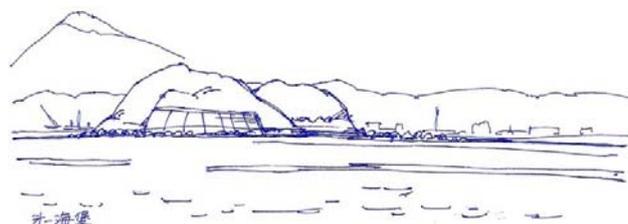
早くボケる人

1. オーイ、オーイと何でも奥さんに頼る人
2. 頑固一徹融通のきかない人
3. 無口無表情ムツリ屋
4. 無趣味、趣味は仕事という人
5. 真正直すぎる人
6. なまけ者、無精者、ものぐさな人
7. 無信仰、神棚仏壇なく神社仏閣、寺に参らない人
8. 孤独の人、友なく交際しない人
9. 無神経、わがままな人

ボケない人

1. 常に感謝し、ゆとりある人
2. 本や新聞を読み、日記を付ける人
3. 手足をよく使う人
4. 人の世話をする人(戦友会、クラス会、仲人など)
5. ハイカラさん
6. 酒をたしなみ、歌をうたうなど陽気な人
7. 友人が多くつきあいの良い人
8. 趣味が多く、スポーツを好みつづける人
9. 奉仕の精神旺盛な人
10. 異性に関心を持ち続ける人

〒293-0042 富津市小久保2868
さざ波館 Sazanami-kan
2868 Kokubo Futtsu-shi Chiba-ken,
Zip code 293-0042
Tel.0439-65-3373 Fax.0439-65-3304
URL <http://www.futtsuchuo-rotary.org>



会長報告

例会終了後、理事会を行います。

幹事報告

須藤 隆 幹事



3月25日(日)の塩山RC創立40周年記念例会が近づいてきました。当クラブからの参加人数を確認したところ15名の申し込みがありましたので先方に参加者名を連絡しました。

今日再度最終的な参加確認をさせていただきますのでよろしくお願いします。尚、当日のスケジュールについては本日の理事会にて検討します。

報告事項

- 4月12日(木)例会終了後に、富津シティの田中会員(荏原製作所副工場長)のお取り計らいで荏原製作所の工場見学を実施することになりましたのでお知らせします。
- 小野会長のお嬢様、3月11日結婚式
- 盛岡市北ロータリークラブより、ソーラー街灯設置支援依頼受領
- 君津地方教育書道研究会より作品集ポスター送付。千葉会員のお孫さんが特別賞受賞
- 君津RCより休会のお知らせ
3月19日(月) 定款による。
- 先週の理事会報告の追加

千葉会員より、ご自身がパーキンソン病の認定を受け、国から支援を受けている立場上、このままロータリーの会員を続けるべきかどうか迷っており、理事会の意見を伺いたいと申し出があった。

理事全員が、このまま会員を継続してほしいとの意見で、千葉会員も継続希望であった。

小野恒靖会員令嬢御結婚祝



来る3月11日お嬢様が結婚される小野恒靖会長へ高橋裕之副会長よりお祝いが贈られました。

委員会報告

次年度役員名簿

高橋裕之 会長エレクト

早いもので、来月は地区協議会という時期になりました。つきましては、次年度役員名簿(巻末)を作成しましたので、確認ならびに助言をお願いいたします。役割分担につきましては、ロータリーの友情により、快諾のほどよろしくお願いいたします。

クラブ会報・広報委員会

若鍋武良 委員長

来週は家庭集会の経過発表日です。各世話役さんには宜しくお願いします。なお、Cグループは3月10日(土)に家庭集会の予定です。

会員報告

難病認定と奉仕活動

千葉一利 会員

私はパーキンソン病です。平成10年12月、病院で検査の結果、そう通告されました。何故この難病に私が…と大変悩みましたが、私と高校同期のドクター三枝が、“この病気はつい内向的になりやすいので、積極的に人の中に出る様に、そして前向きに生きること”、と教えてくれました。

左半身の振戦は、はじめそう日常生活に支障がなかったので、13年余、難病の申請をせず、ロータリーも続け、皆さんにお世話になってきました。

所が昨年、親戚の義兄弟が難病にかかりその申請をしました。それを機に、我が家でも私の病気が取り上げられ、もう数え80だし13年余も難病申請し

なかったのだから、この際申請したらと言う話になり、私も考えた末、申請を決断し、昨年12月保健所に書類を提出しました。そして2月特定患者(パーキンソン病関連患者)に認定されました。

いざ送られてきた認定カードを手にとると、“国から特別な援助を受けながら奉仕活動をする”というどこが割り切れない矛盾の様なものを感じた訳です。ロータリーを続けるべきか辞めるべきか、私にとっては大問題です。最終的には私の気持ちの問題で、自分で決めることですが、一応色々な人に相談してみようと思いました。

まず、親同様の榎本会員にと考えたのですが、暮れから体調を崩されていたので後日することにし、最初は1月の囲碁会の時、小野会長、須藤幹事に相談し、次は先週理事会で話し合って貰いました。

理事会の様子は須藤幹事から報告がありましたが、前記2回いずれも難病認定と奉仕は関係がない、活動は続けられる、続けて欲しいと言うことでした。須藤幹事の話の後、佐藤 SAA から私に一言と指名がありまして、前に出る途中大変な拍手を貰いました。“辞めるな、そんな事気にするな”と言う激励に聞こえ、心の温まる思いがしました。

私はそこでは簡単な経過、拍手やアドバイスに対する御礼などを述べましたが、皆さんに相談をかけた以上、一刻も早く結論を出そうと思っています。

なおこの事は会員資格とは直接関係ないと思いますが、折も折、高橋次年度会長から、次の役割分担の提案がありましたので、急ぐ必要があるかと考えています。ご意見、アドバイスなどありましたらお聞かせ下さい。

快気御礼

榎本守男 会員

2月2日から3月1日の例会まで休ませていただきました。お蔭で昨年末からの胃癌、続いて胆のうの摘出手術とすべて順調に終わりました。入院中は転院等のハプニングがありましたが、後は身体を動かして体力の回復を待つばかりです。何の憂いもありません。皆さんには、色々のご心配いただき本当に有難うございました。

入院中は、ネットで会報を読むことが唯一の楽しみでした。小野会長、須藤幹事の挨拶の中に楽し

い例会の雰囲気を感じました。志波会員の「宇宙雑談」の卓話の巧みさも紙面を通して伝わりました。その中に使用されていた230万光年、何十兆個、10の500乗のような想像を絶する数字に悠久、不朽、永劫、恒久と言った言葉が浮かんできました。自分の悩みがいかにかさいか気付かされました。

そして会員の皆さんの写真も拝見し、その様子に早く復帰をしたいとの思いが募りました。つくづくロータリアンであることの喜びを感じました。また本日は例会場に入った時、会員の皆さんから暖かい拍手で迎えて頂き、感激で胸が熱くなりました。現在は、嘗ての日常を取り返す事が私の目標です。

衣食住の部分では、入院中のパジャマからチョイ悪オヤジ風ウェアに変身して外出する事、スポーツウェアでフェアウェイを闊歩する事、病院食の味付けの薄いタラの煮つけから、ラーメン、寿司、天ぷら、カキフライ、うな重、お茶漬けを順次食べていく事、住の面では、風呂にゆっくり入る、階段を上る、早く歩く、寝返りをうつ、これらの一つ一つに回復の喜びを感じています。



問題は、メンタルな喜怒哀楽の分野です。喜怒哀楽は、以前より増幅して感じるようになりました。他人の喜びを自分の事として受けとめ、哀しみはより深く感受し、楽しみはとことん追求する。怒だけは、担当医、看護師、友人 社員 同業者、家族、総ての人から、怒の精神で接していただきましたので、私の頭から消滅してしまいました。漢字では、怒と怒はほんの少しの違いですが、意味は大きく異なります。これからは、怒のない新しい自分で研鑽していきたいと思えます。

最後に会員の皆さんの心遣いに感謝し、お礼とさせていただきます。

卓話

私にとってのロータリー

須藤 隆 会員



卓話をするたびに卓話のむずかしさがいつも身に沁みています。今まで卓話として旅行体験の話は何度かさせていただきましたが、自分で決める卓話のテーマには悩みます。

前は半導体について話しましたが、事前に準備をして半導体全般について話そうと思ったのが、かえって総花的となり、話が硬く、皆さんに興味を持っていただけるような話ができなかったと自分ながら反省したものです。

今回は、今年の最初の例会後に小野さん、千葉さん、若鍋さんの4人で新年囲碁大会を開き、碁が終わって懇親会の席でそれぞれのロータリーに対する価値観について喧々諤々お互いのロータリー感をぶつけ合ったその時のことを想い、囲碁の話ではなく私自身にとってロータリーは何かとのテーマで卓話してみたいと思います。

ロータリーの定義によると

「ロータリーは、世界中の事業及び専門職務従事者からなる国際的組織で、人道的奉仕活動を行い、あらゆる職業における高い道徳的水準を奨励し、世界中で親善や平和を築くために助力している」と謳われています。この定義に照らすと、今現在、事業及び専門職務従事者でない私にとってロータリーをどのように位置づけたらよいのだろうかとの思いが常にありました。

私は企業経営者の一端を担った後に退職してロータリーに入会しました。ロータリー入会後の職業的身分は無職です。現在は事業及び専門職務を通じた奉仕には無縁です。

ロータリーの職業分類では機械設計となっておりますが、これは私がエンジニアとして入社して以来、

開発設計に従事していた20数年間のことで、その後は工場運営及び経営のマネジメントが長かったため、機械設計とは名ばかりであります。そのような私にとってロータリー精神に基づいた私なりのロータリー感を醸成する必要を感じておりました。

そもそも私がロータリーに入会した最も大きな動機は、入会する前の地域住民との交わりの少ない企業中心の活動から、できれば地域コミュニティとの交流を図れないかと思っていました。

たまたま志波会員から誘っていただき、私のようなものでも入会を許可していただいた皆様のおかげで、当クラブに所属させていただき早や4年近くになります。

この間、前述したロータリーの定義と私の置かれている立場に違和感をもっておりました。それでもロータリーに踏みとどまっているのは自分なりにロータリーの意義を感じているからです。そこで私なりのロータリー感を皆様に披露し、私と同じような立場にある多くの方々と意見を交わすきっかけになれば幸いです。

私にとってロータリーの意義は以下の5項目に集約されるような気がします。

1. 多士済々の方々との交流を通じ、多様な価値観に接することで自己啓発される。

私自身長い間、企業の組織の中で働き、常に上司と部下の関係で、組織の中で計画された課題を達成することを生業としてきた習性がありました。部下と上司の関係は、時には部下であり、時には上司であるとの関係であります。ところが医師、教師、オーナー経営者たちとは今までの私とはその生業の形が全く異なりますのでおのずとその価値観も判断の視点も異なります。そこに自分が啓発されることがあるのです。

2. ロータリー組織の役割を担うことが奉仕の精神に通ずる。

これは、自分が引き受けたくない役割も引き受けることにより、他の人に対する奉仕につながると考えられるからです。

3. 卓話の機会を通じて自己研鑽を図れる。

私にとって、人前で筋道立てて話をするのが大の苦手です。ロータリーにはこの私の苦手の卓話の当番制があります。これは私にとって卓話のスキ

ルを少しでも向上させるチャンスでもあります。卓話をするのをできれば避けたいと思う気持ちと自己向上につながると思う気持ちの葛藤でもあります。それだけに自分に与えられた卓話に真摯に取り組むことが大切と考えています。

4. 些少ではあるが寄付行為を通じて社会貢献参加の自負を得る。

口財団、米山奨学会等への寄付は少しでも社会に役立っていると得心できます。

5. 毎週の例会が生活サイクルの歯車として機能している。

私の予定表の木曜日は7月から1年分ロータリーの例会で埋められています。木曜日はよほど重要な出来事がない限り、ロータリーを優先させています。とはいうものの木曜日の昼の用意をしなくて済む女房が木曜日を一番喜んでいるかもしれません。従ってロータリーは完全に1週間のサイクルの歯車の歯の機能をしております

今述べたこれらの5つのことは、多くの方も感じておられることでしょう。私のような職業をリタイアした会員にとっては、個人でロータリーに入り、ロータリーに所属していること自体がささやかなりとも奉仕につながるのではないかと考えております。

会員として会費及び寄付を納めること自体がすでにロータリー活動の一端を担っていることであり、自らの職業奉仕ができなくともロータリーの組織を通じて奉仕活動をしているとみなしてもよいのではないのでしょうか。

さらに上記項目をまとめていえば、私にとってまさにロータリーは自己研鑽の場であります。ロータリーは人生道場であるといった人もおりました。ロータリー大学かもしれません。人生は死ぬまで勉強であると言われる。ロータリーに所属し、時には面倒で避けたい役割を担いながら、その人なりに真摯に活動することがロータリー会員のあるべき姿かと思っております。

ロータリーに関する価値観は個々人にとって違いがあってもよいと思います。ロータリーの理念や哲学ははっきりしておりますが、それと異なる個々人のロータリーに対する哲学は尊重されるべきと思います。

これを機に皆さんが抱いているロータリー個々人

の意義について話を聞くことができれば幸いです。

ニコニコ BOX

刈込一弥 親睦担当委員
高橋裕之 次女が多摩美大絵画学科油絵専攻に進学が決まりました。

千葉一利 榎本会員の体調回復お目出度うございます。孫が君津地方小中高書き初めで特別賞を頂きました。

須藤 隆 卓話を聞いて頂いて。

*榎本守男 1ヶ月ぶりに例会に出席出来ました。ご心配頂き有り難うございました。

*小野恒靖 高橋、千葉、須藤、榎本各会員に感謝。

* >1,000 円 合計 7,000 円

出席報告

刈込一弥 出席担当部長

区分	会員数	出席	欠席	MakeUp	出席率
今回	19/17	15	2		88.24%
前回	19/17	14	3		82.35%

理事会報告

3月25日(日)塩山40周年記念例会当日予定

1. (さざ波館のバスにて早めに出発)

大貫発7:30(大貫駅、吉野農協、石渡家、佐貫農協)

途中石川PAにてトイレ休憩 塩山着11:30

昼食(そば等軽食)

勝沼ブドウの丘イベントホール着12:30

記念例会点鐘13:00 食事会16:00

帰途17:30

2. 持参するもの

記念例会のお祝金、会員土産(@1,000 相当)

3. 負担金

参加者 6,000円

不参加者 3,000円

予算逼迫のため、全員から負担金を徴収。

不参加者には、よろしく協力をお願いすることとした。

2012～2013 富津中央RC 役員・理事・委員名簿

役 員	会長 高橋裕之 直前会長 小野恒靖 会長以外・副会長 須藤 隆 幹事 若鍋武良 会計 大網庄一郎 SAA 原田雅式
-----	--

副幹事 山田昌雄 副SAA 高島治雄 三井 進

監 査 小野恒靖 白石幸久

理 事	高橋裕之 須藤 隆 若鍋武良 大網庄一郎 原田雅式 小野恒靖 山田昌雄 佐藤信泰 刈込一弥
-----	--

委 員 会 名	委 員 長 副委員長	委 員
会 員 増 強	山田昌雄 石渡 鋼	平川恵敏 大網庄一郎 榎本守男 三井 進
会 報 ・ 広 報	刈込一弥 渡辺 務	志波 克 佐藤信泰 須藤 隆 高橋裕之
管 理 運 営	須藤 隆 高島治雄	フ・ロク・ラム担当 ○千葉一利 渡辺 務 出 席 担 当 ○原田雅式 刈込一弥 高島治雄 親 睦 担 当 ○榎本守男 石渡 鋼 白石幸久 渡辺 務
奉 仕 プロジェクト	佐藤信泰 三枝一雄	職 業 奉 仕 担 当 ○白石幸久 山田昌雄 社 会 奉 仕 担 当 ○大網庄一郎 原田雅式 国 際 奉 仕 担 当 ○高島治雄 若鍋武良 新 世 代 奉 仕 担 当 ○三井 進 千葉一利
口 財 団 ・ 米 山	小野恒靖 志波 克	口 財 団 担 当 ○平川恵敏 三枝一雄 米 山 担 当 ○高島治雄 原田雅式
4 5 周 年 委 員 会	佐藤信泰 石渡 鋼	小野恒靖 須藤 隆 原田雅式 志波 克 高島治雄

○印：担当部長